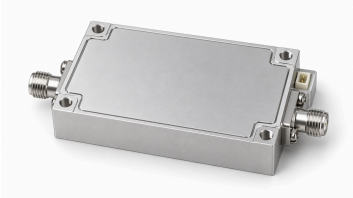
20–18000 MHz 広帯域低雑音アンプ



LCLNA-20-18000-35は20–18000 MHzをカバーし、35 dB以上の利得と+10 dBm以上の出力1 dB圧縮点を備えます。広帯域受信フロントエンド、信号監視、RF測定系に適しており、スプリアス抑圧は標準60 dBcです。

通常動作電源は5 V、動作電流は標準170 mAです。RF入出力はSMAメスで、アルミ合金筐体の本体寸法は50 × 30 × 14 mm、質量は100 g未満です。Ø2.8 mmの取付穴4か所を45 × 25 mmの中心間隔で配置しています。

電気的仕様

項目	記号	最小値	代表値	最大値	単位
動作周波数	BW	20	-	18000	MHz
利得	G	35	-	-	dB
出力1 dB圧縮点	OP1dB	+10	-	-	dBm
スプリアス抑圧量	Spur	-	60	-	dBc
動作電流	IDD	-	170	-	mA

RFインターフェース

インターフェース	仕様
RF入力コネクタ	SMAメス
RF出力コネクタ	SMAメス

通常動作条件

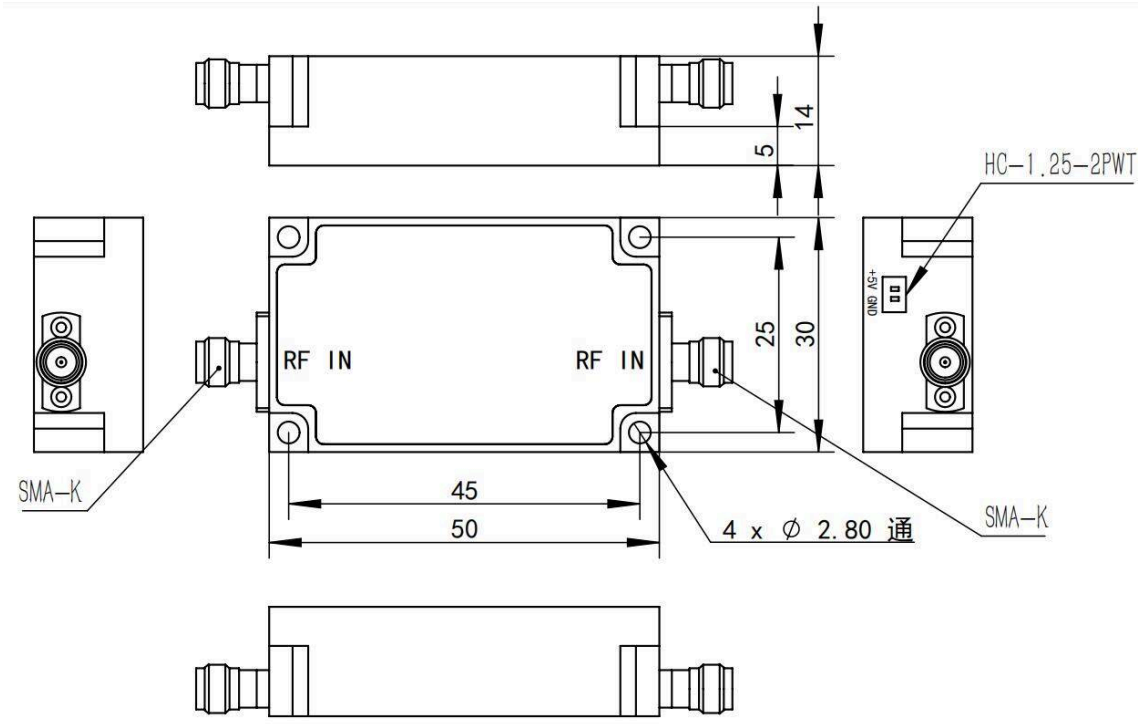
項目	値	単位
動作電圧	+5	V
動作温度	−40–+65	°C
保存温度	−40–+70	°C

絶対動作限界

項目	値	単位
電源電圧の絶対限界	+5.5	V
動作温度の絶対限界	−40–+70	°C
保存温度の絶対限界	−40–+85	°C

機械的仕様

項目	値	単位
筐体材料	アルミニウム合金	-
質量	< 100	g
本体寸法	50 × 30 × 14 (本体のみ。コネクタと電源ピンの突出部を含みません。)	mm
取付穴	4 × Ø2.8	mm
取付穴ピッチ	45 × 25	mm



文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。